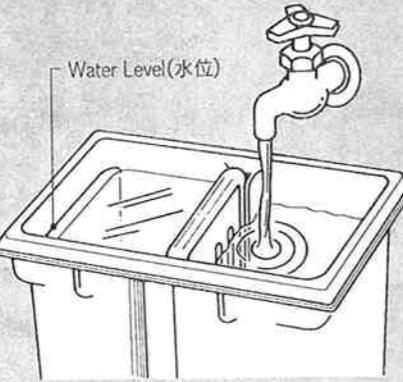
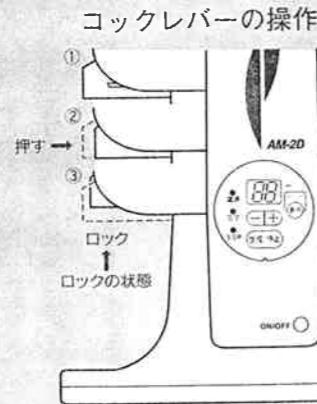
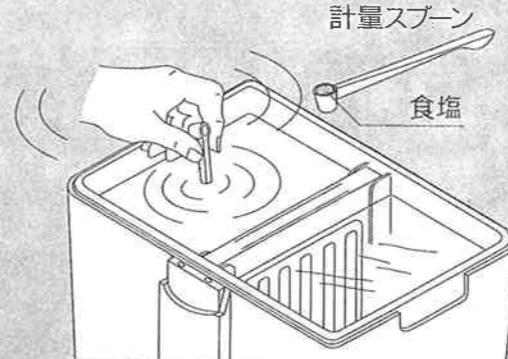
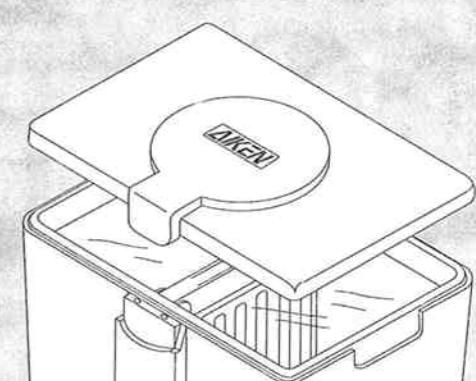


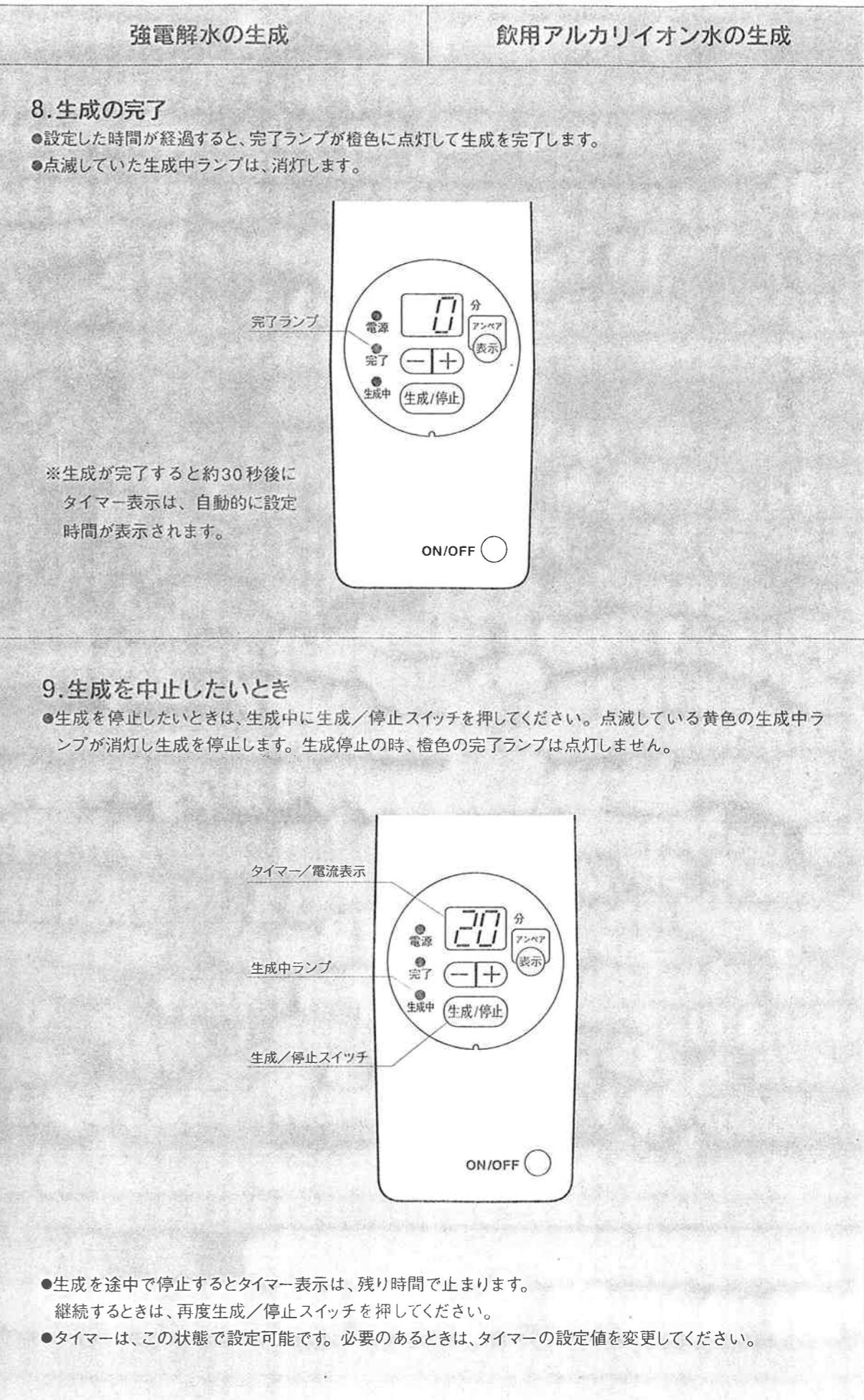
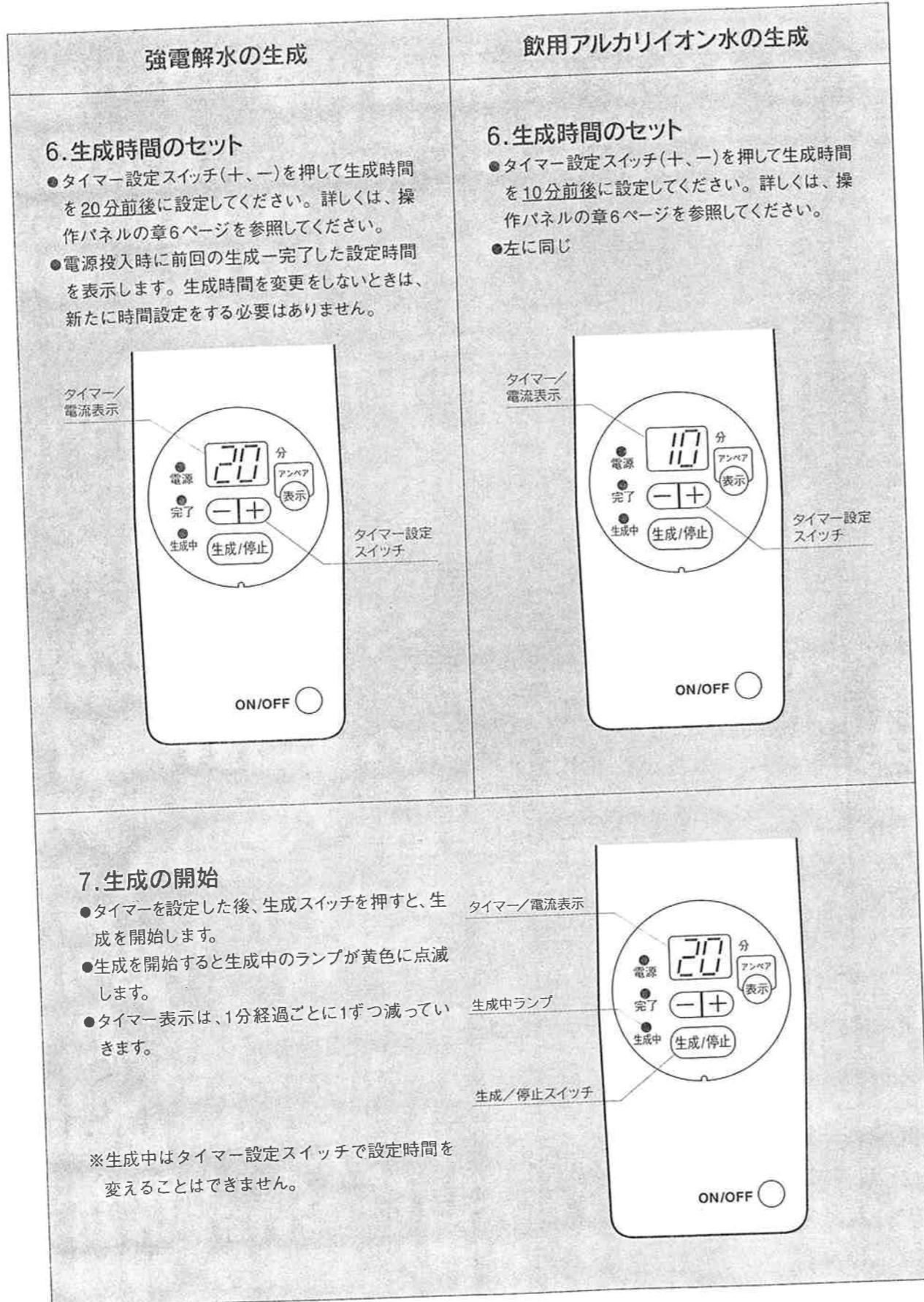
電解水の生成

●生成方法

強電解水と飲用アルカリイオン水は生成方法が一部異なります。

強電解水の生成	飲用アルカリイオン水の生成
<p>1.給水 ●電解水槽に隔膜をセットし、左右の水槽にそれぞれのWater Level(水位)まで水を入れてください。</p> 	<p>1.給水 ●左に同じ</p>
<p>2.コックレバーの確認 ●コックレバーがロックされていないことを確認してください。 コックレバーが押し上っているとロックされた状態です。 ロックの解除はコックレバーを押し下げてください。</p> <p>コックレバーの操作</p> 	<p>2.コックレバーの確認 ●左に同じ</p>

強電解水の生成	飲用アルカリイオン水の生成
	<p>3.無添加 ※必要に応じて乳酸カルシウム1グラムをお湯に溶かして左側水槽(酸性水槽)に添加します。</p>
	
	<p>4.上部タのセット ●上部タを接続プラグが前にくるようにして、本体に正しくセットしてください。</p> 
	<p>5.電源を入れる ●電源プラグをコンセント(AC100V)に差し込み、電源スイッチを入れます。電源ランプが緑色に点灯します。</p> <p>※電源を入れたときのタイマー表示は、前回の生成完了した設定時間が表示されます。</p> 



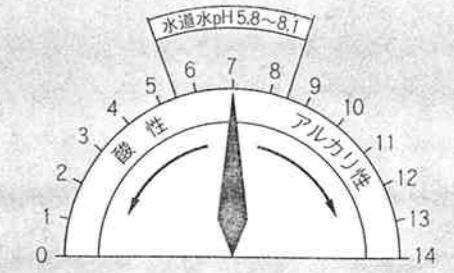
●生成水のチェック

強酸性水のチェックはよう化カリウムでんぶん紙で、飲用アルカリイオン水のチェックは、フェノールフタレイン溶液で、行ってください。

強酸性水のチェック	飲用アルカリイオン水のチェック
<ul style="list-style-type: none"> 生成水の生成度合は、添加食塩の量や水質、水温、その他の条件によって異なります。 	<ul style="list-style-type: none"> 生成水の生成度合は、水質や水温、その他の条件によって異なります。
<ul style="list-style-type: none"> 上部を外し、酸性水側(左側水槽)の生成水を付属の計量攪拌棒でよくかき混ぜた後、コップに半分位取り出してよう化カリウムでんぶん紙を浸し変色の度合いを調べます。 	<ul style="list-style-type: none"> 上部をはずし、アルカリ水側(右側水槽)の生成水を付属の計量攪拌棒でよくかき混ぜた後、コップに半分位取り出して付属のフェノールフタレイン溶液を1~2滴添加します。検水が赤く変色しましたら変色表と比較してpHを確認します。
<ul style="list-style-type: none"> 変色による判断基準 よう化カリウムでんぶん紙は生成水に含まれる次亜塩素酸の濃度をしらべる試験紙です。 次のような目安で判断してください。 <p></p> <p>次亜塩素酸の濃度により青紫色に変色します。 ほとんど変色しない場合：生成時間を長く 薄く変色した場合：適正な状態です。 少し濃く変色した場合：生成時間を短く</p> <ul style="list-style-type: none"> 生成不足の場合は継続して追加生成します。 よければ次回から増やした目盛りで生成してください。 生成過剰になった場合は、タイマーを15(分)位まで短くし、新しい水で最初から生成をやりなおしてください。 	<ul style="list-style-type: none"> フェノールフタレインpH標準変色表

一口メモ

pH（水素イオン濃度）は、0~14までのレベルで酸性またはアルカリ性の強さを表すものです。pH7を中性とし、7未満は酸性、7を越えるとアルカリ性です。

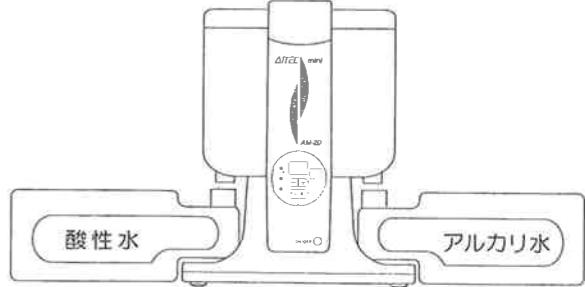


注意

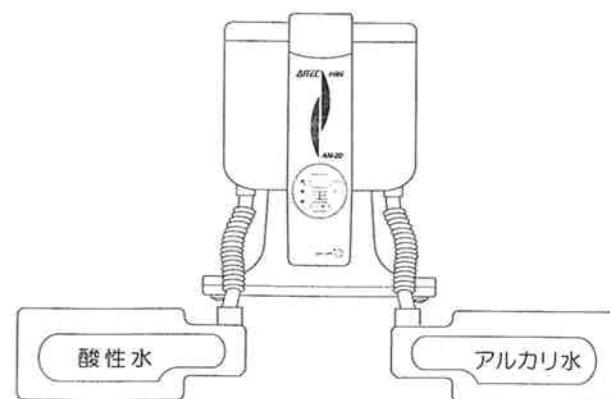
- フェノールフタレイン溶液は、
・フェノールフタレインをエチルアルコールに溶かしてありますので、火の近くには絶対に置かないでください。引火する事があります。
・目に入れたり飲んだりしないでください。もし誤って飲用や点眼をした場合は、水を大量に飲むこと、又は水洗いを十分して、医師に相談してください。
- フェノールフタレイン溶液は蒸発しやすいので、使用が終わりましたら冷暗所（冷蔵庫など）に保管してください。
- フェノールフタレイン溶液やよう化カリウムでんぶん紙で検査した水は捨ててください。
- フェノールフタレイン溶液は必ずフタをして幼児の手の届かない所に保管してください。

●生成水の取り出し・保存

- ①付属のポリ容器を横にして、コップ受け部にセットし、コックを押して生成水を取り出します。コックレバーを押しあげるとロックされ、連続して取水できます。



- ②ポリ容器を横にするスペースがない場合は、付属の取水ホースの一方を電解槽のバルブに接続してポリ容器に導水してください。
- ③付属のポリ容器は、ご使用前に水又はぬるま湯で洗浄してください。



- ④生成水を保存する場合は、ポリ容器に取り出し、キャップをしっかりと締めて冷暗所に保管し、開栓後は極力早めにご使用ください。
飲用アルカリイオン水は2~3日以内に、強酸性水は3~4週間以内にご利用ください。
- 酸性水・アルカリ水はそれぞれの容器を区別して間違ないようにご利用ください。



注意



- 強電解水を生成した後は、なるべく早く生成水を取り出し電解槽を水洗いしてください。
強電解水でガスケットが酸化され、ガスケットの寿命が短くなります。

●生成時間の決め方

- 本器は通常の都市水道水なら約10分で飲用アルカリイオン水と弱酸性水、また食塩を添加することにより約20分で強酸性水と強アルカリ水が生成できるように設計されていますが、水道水は地域ごとに含まれている成分が異なりますので、タイマーのセット時間は付属のフェノールフタレイン溶液やよう化カリウムでんぶん紙でpHを確認の上お決めください。

●隔膜の取り扱い上の注意

- 本隔膜は熱に弱いため、煮沸など又はお湯の電解生成は絶対に行わないでください。
- 隔膜はイオン交換するための目に見えない穴が無数に開いています。長期間使用していますと、穴が徐々に目づまりし生成に時間がかかるようになります。
- 完全に目づまりすると、電極間に電気が流れませんので生成不能([エラーについて] 21ページ参照)となります。
- 隔膜及びガスケットは消耗品です。水質にもよりますが800~1,000回(1日2回の生成で1年~1.4年)を目安に新しいものと交換してください。
- 隔膜は薄いので破損しないように注意してください。

●長期間使用しない場合

- 本器を長期間ご使用にならない場合は臭気やカビの原因となりますので、隔膜を十分乾燥させてから湿度の少ない場所に保管してください。
- ガスケットと隔膜は別々に保管してください。隔膜にガスケットをセットしたまま密封しておくと、新しい隔膜でも目づまりを起こします。
- 特に夏期で3日以上使用しないときは、内部を十分乾燥させてから保管してください。
- 本器を長期間使用しないで再度使用する場合は本取扱説明書の順序にしたがって機器の作動を確認の上お使いください。

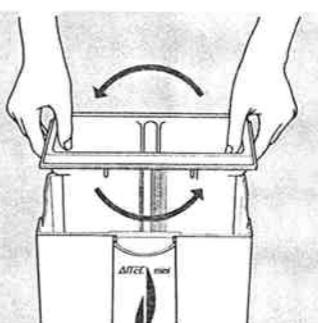
●電極の洗浄

- ①酸性水側の電極はフェライトを使用していますので衛生的な上、半永久的な寿命を持っています。水が汚れず、電極を交換する必要はありませんが、時々水洗いをしてください。
- ②アルカリイオン水側の電極はステンレスを使用しています。長く使用しますと、カルシウム等のミネラルが白く付着します。無害ですが生成能力がおちますので時々取り除いてください。
- ステンレス板電極に付着したカルシウムを取り除く時は、ステンレス板電極にブラシ等で食酢をたっぷりつけてください。5~10分放置しておくと、カルシウムが浮いてきます。スポンジ等でこすればきれいに取り除けます。
- ③ステンレス電極は塩分によりサビが発生する場合がありますので、使用後は必ず水洗いをしてください。
- 上部タブの電極部に水がかからないように注意してください。故障の原因となります。

●電解槽の洗浄

電解槽及び保存容器がよごれた場合は、電解槽左側でできる強酸性水か食酢(5~10%)に数時間浸して洗うときれいに取り除けます。タワシなど固いものは避けやわらかいスポンジなどを使用してください。

- 電解槽の形は左右対称です。水を入れて本体にセットする時、時々左右を反対にしてお使いください。電解槽内及び隔膜にカ



ルシウムが付着しにくく、清潔にお使いいただけます。

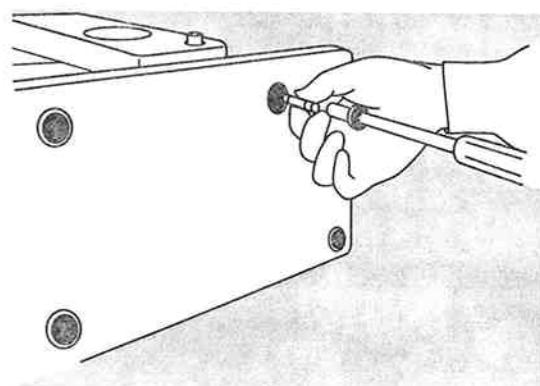
●本器の汚れは

本器は丈夫なABS樹脂で出来ていますが、汚れを落とす時は柔らかい布で乾いたままか、ぬるま湯で絞って拭いてください。シンナー・ベンジン・クレンザー・殺虫剤等は使わないでください。変形、変色、ひび割れの原因になることがあります。

●ヒューズの交換

本器内蔵のヒューズが切れると、本器はまったく作動しなくなります。本体底面にヒューズボックスがあります。プラス(+)のドライバーでヒューズボックスのフタを左に回すと中から2Aのガラス管ヒューズが出てきます。切れている場合は、新しいヒューズに(一般市販品)交換してください。

●ヒューズボックスのフタを取り付けるときは、軽く締めてください。強く締め付けすぎるとネジ山が破損します。



警告 -安全のために必ずお守りください-



ヒューズは2A(アンペア)の容量のものをご使用ください。これ以外の容量のヒューズは絶対に使用しないでください。特に指定容量以上のヒューズを使用すると本体内部が破損します。

アイテックミニAM-2Dは、生成電流の電流値が確認できます。この章では、電流値の表示方法と活用について説明します。

●生成電流とは

生成電流とは、電気分解をするときに流れる電流を言います。
生成電流は、水質（地域ごとの水道水、井戸水など）や添加物によって変わります。
また、隔膜の状態などにも影響されます。

●生成電流の表示方法

電流値を表示するには

1. 生成の準備をして、生成を開始してください。[電解水の生成]（12ページ）を参照してください。
2. 生成中に操作パネル上の電流表示スイッチを押してください。
3. タイマー／電流表示には、電流値が表示されます。
表示された数値の単位は、アンペア(A)です。
(例：0.2 = 0.2A)
4. 表示されている電流値は、約3秒後にタイマー(残り時間)表示に自動的に戻ります。

●電流値の目安

電流値は、水質、添加物、隔膜および時間などによって変化します。
下記に生成中のおおまかな電流値を記載します。
目安としてご活用ください。

添加物	生成時間(分)	電流値(A)
無添加	10	0.1~0.4
食塩 (付属計量スプーン1杯)	5	1.2~1.5
	10	1.0~1.4
乳酸カルシウム (酸性水側のみ)	20	0.2~0.5
	10	0.2~0.5

(表は、弊社所在地域の水道水を使用した場合の数値です)

※ご使用される水の水質によっては、かなりの差が生じる場合があります。
また、食塩添加時は混ぜ具合でも変化し、無添加に比べ電流値誤差も大きくなります。

●電流値の活用

正常に生成できたときの電流値を基準値として、生成状態の把握にお役立てください。
(食塩添加時は、十分混ぜて生成した時の電流値を基本値としてください。)
電流値の低いときは、隔膜の目詰まりや添加物の不足などが考えられます。
電流値が高いときは、添加物の入れすぎや、基準値とした生成時に添加物が十分混ぜられていないかったことも考えられます。

チェックリスト

●最後にもう一度確認しましょう

- この取扱説明書をきちんと読みましたか。
- 本器で生成するのにふさわしい水かどうか確認しましたか。（本書8ページ参照）
- 電源プラグは正しく差し込まれていますか。
- 表示された電源電圧（交流100V）で使用していますか。
- 電源コードが折れ曲がったり、傷ついたりしていませんか。
- タコ足配線はしていませんか。
- ガタついたコンセントを使用していませんか。
- 電源コンセントや電源コードをステープル等で固定していませんか。
- 本器の設置にふさわしい場所に設置しましたか。（本書8ページ参照）
- 本体や上部タを誤って水中に落したときの対処方法は分かりましたか。（本書8ページ参照）
- アルカリイオン水を飲用するにあたっての注意事項をきちんと読みましたか。（本書11ページ参照）
- 電解水の保存方法は分かりましたか。（本書17ページ参照）

●エラーについて

本器をご使用中、操作パネルの時間表示部に下記の表示がされた場合には、次の項目を確認してください。

エラー表示	原因	対策
E0（注1）	上部タが開いている。	上部タを接続プラグが前にくるようにして、本体に正しくセットしてください。
	取水コックレバーがロック位置になっている。	取水コックレバーを元の位置に戻してください。
	隔膜が完全に目詰まりしている。	新しい隔膜に交換してください。
	水が規定量入っていない。	水をWater Level（水位）まで満たしてください。
	生成中の水が高温になった。	・お湯は使用しないでください。 ・添加する塩の量は、指定の計量スプーンですり切り一杯としてください。 ・水を交換してからやり直してください。
E1（注2）	添加した塩が多くなる。	生成を停止して水を交換してから、やり直してください。 添加する塩の量は、指定の計量スプーンですり切り一杯としてください。
生成中に時間表示が点滅する（注3）		

（注1）“E0”表示後は、電源を入れ直すか、十または一スイッチもしくは生成／停止スイッチで通常の時間表示に戻ります。

（注2）エラー表示“E1”が表示された場合は、電源スイッチを一度切ってからやり直してください。

“E1”表示後は、電源を入れ直さないと使用できません。

（注3）時間表示の点滅状態が1分以上継続すると、エラー“E1”が点灯して生成を停止します。

●故障かな?と思ったら確認しましょう

症 状	原 因	処 置
電源ランプが点灯しない。	電源コードの抜け	電源コードを確実に差し込み、電源スイッチがONであることを確認してください。
	停 電	ほかの電気製品が作動することを確認してください。
	ヒューズが切れている。	ヒューズを交換してください。[メンテナンスについて] (19ページ) を参照してください。
	本体が傾いている。	本体が傾かないように、平らな場所に設置してください。
完了ランプが点灯しない。	生成中に生成／停止スイッチを押して生成を停止させた。	生成の停止をすると、完了ランプは、点灯しません。タイマー時間が経過するまで、停止させないでください。
	エラーが表示されている。	[エラーについて] (21ページ) を参照してください。
生成中ランプが点滅しない。	生成／停止スイッチを確実に押していない。	生成／停止スイッチの中央を軽く押してください。
	エラーが表示されている。	[エラーについて] (21ページ) を参照してください。
タイマー表示部にエラーコードが表示された。		[エラーについて] (21ページ) を参照してください。
時間設定ができない。	生成中に設定しようとした。	生成中は、時間設定を変更できません。生成／停止スイッチを押して、生成を停止してから行ってください。
電流が表示されない。	生成中でないときに電流表示スイッチを押した。	生成中に電流表示スイッチを押してください。
正常に作動しているのに、生成水がない。	隔膜が寿命。	新しい隔膜に換えてください。
	ステンレス電極にカルシウムが付着し過ぎている。	電極を洗浄してカルシウムを取り除いてください。[メンテナンスについて] (19ページ) を参照してください。
	隔膜が十分差し込まれていない。	隔膜の差し込みを確認してください。
	水質の変化によって、生成に時間がかかる。	設定時間を長めにしてください。

症 状	原 因	処 置
電解槽の片側の水を取り出すと同時に反対側の水が流れ込んでくる。	隔膜が電解槽中央のスリットに正しく差し込まれていない。	隔膜を下まで十分押し込んでください。[本体の組み立て方法] (7ページ) を参照してください。
	隔膜にガスケットが正しく取り付けられていない。	ガスケットを確実に装着してください。
	ガスケットが破損している。	新しいガスケットに取り替えてください。
生成中に電源が切れた。	ヒューズが切れた。	・添加した塩の量が多すぎます。適量にして生成をやり直してください。 ・ヒューズを交換してください。[メンテナンスについて] (19ページ) を参照してください。
	停電した。	ほかの電気製品が作動することを確認してください。
	本体が傾いた。	平面の安定した所に設置してください。

保証とアフターサービスについて

1. 製品保証書・保証登録通知書

イ. この商品には製品保証書と保証登録通知書がついています。製品保証書及び保証登録通知書は取扱店または販売所で所定事項を記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認いただき製品保証書は大切に保存してください。

ロ. 保証登録通知書は修理やアフターサービスを迅速に行うためのものです。ミシン目で保証書と切り離し、お買上げ日より1ヶ月以内に投函してください。

ハ. 保証期間はお買上げ日より1年間です。但し消耗部品は保証の対象となりません。

ニ. 保証期間内でも有料になることがあります。詳しくは保証書をご覧ください。

2. 保証期間中、修理を依頼されるとき

22~23ページの表にしたがってお調べいただき、それでも直らない時には、誠に恐れ入りますがお買い上げになった販売店に保証書を添えて修理をご依頼ください。保証書の記載内容に基づき無償で修理を致します。

3. 保証期間が経過してから、修理を依頼されるとき

取扱店または販売店にご相談ください。修理をして製品の機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

4. 転居されるとき

電源周波数 (Hz) の異なる地区へ転居されても 50 / 60Hz 共用ですので部品の取り替えは不要です。

5. 補修用性能部品の保有期間にについて

本器の補修用性能部品は製造打ち切り後最低6年は保有いたします。
●補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

※保証期間中の修理など、アフターサービスについておわかりにならない場合は、お買い上げになった販売店、取扱店、または当社事業本部までお問い合わせください。